

授業科目

連携総合ゼミ

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|-----|
| 担当教員名 各担当教員 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | 全学科 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

授業の概要

QOLサポーターとしての専門職への円滑な導入を図るために、異なる学科の学生とお互いの専門性・志向性を考慮しながら連携・協働し、対象者の真のニーズを把握して支援策を企画・立案する。

対象者のQOLを支えるためには異なる専門職との密接な連携が必要であることを理解するとともに、地域における社会資源や専門職、及び専門機関（医療、福祉、保健など）のネットワークの重要性を理解し、将来の実践の基礎的能力・態度を身につける。

授業の目的

学生が自らの所属学科の専門性を踏まえつつ他学科の専門性・志向性を十分に理解し、評価・アセスメントに始まり支援計画の立案に至るチームケアないしチーム医療を模擬的に体験することで、他の専門職と連携して対象者の支援にあたるための基本的な方法や内容を修得できる。

学習目標

1. 対象（者）への評価を実施できる。
2. 他職種の専門性、志向性に基づいた評価と自らのそれらの差異を識別できる。
3. 対象（者）の評価・アセスメントの結果を説明できる。
4. 他学科の学生と検討して対象（者）のニーズを抽出できる。
5. 検討結果に基づき、協働して対象（者）へのアプローチを企画できる。
6. 対象（者）のニーズに対する他職種のアプローチの特徴と自らのそれとの差を指摘できる。
7. 支援計画に対象（者）及び家族の意見を反映させることの重要性を説明できる。
8. 他学科の学生と検討した支援策を効果的に発表できる。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|-----------------|-------------------------------------|------------------|
| 1 | 事前オリエンテーション | スケジュールの確認、モジュールの使用法、事前評価、アイスブレイク | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 2 | オープニングオリエンテーション | ミニレクチャー（外部講師）、他大学参加者・見学者紹介 | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 3 | ゼミ活動（1日目） | メンバー紹介、事例確認、担当教員・ファシリテータの確認、活動計画立案 | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 4 | ゼミ活動（1日目） | 事例学習、情報収集、活動計画立案、1日の振り返りなど | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 5 | ゼミ活動（2日目） | 事例学習、情報収集、事例のアセスメント、ディスカッション(共有) など | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 6 | ゼミ活動（2日目） | 事例学習、情報収集、事例のアセスメント、ディスカッション(共有) など | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 7 | ゼミ活動（2日目） | 各専門領域からの問題点の提示、共通問題の抽出、1日の振り返りなど | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 8 | ゼミ活動（3日目） | 各専門領域からの問題点の提示、共通問題の抽出、支援策の検討など | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 9 | ゼミ活動（3日目） | 共通問題の抽出、支援策の検討、コーヒーハウス(交流会)への参加など | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 10 | ゼミ活動（3日目） | 支援策の検討、ディスカッション(共有)、1日の振り返りなど | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 11 | ゼミ活動（4日目） | 支援策の修正、発表方法の決定、発表資料の作成など | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 12 | ゼミ活動（4日目） | 支援策の修正、発表方法の決定、発表資料の作成、用語集の作成など | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 13 | ゼミ活動（4日目） | 発表資料の作成、発表練習、1日の振り返りなど | 事例担当教員 |

| | | | |
|----|-----------|-----------------------------------|------------------|
| | | | 連携協力教員 |
| 14 | 発表準備（5日目） | 発表資料の完成、発表練習、用語集の提出など | 事例担当教員 連携協力教員 |
| 15 | 発表会(5日目) | 支援策の発表、全体リフレクション、他大学参加者修了書授与、事後評価 | 事例担当教員 連携協力教員 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|---|-----|-----|-----|----|-----|
| 教科書 | 特に指定しない | | | | | |
| 参考書 | 特に指定しない | | | | | |
| その他の資料 | 実際の対象（者）、ビデオ、DVD、PCコンテンツ、事例のシナリオなど、必要に応じて提示・配布する。 | | | | | |

評価方法

参加態度、評価内容、討論内容、発表内容、発表技術で評価する

履修上の留意点

1. 集中講義として開講されるので、他の科目との履修調整に留意する。
2. 授業の大半がグループワークなので、欠席せず積極的に参加すること。
3. グループにより事前学習・ミーティングを実施する場合がありますので、事前連絡に留意すること。

オフィスアワー・連絡先

matsui@nuhw.ac.jp

各事例担当者メールアドレス

授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。